



天文台だより

銀河の森天文台
2011 秋号
Vol. 53

7月10日、陸別スターライトフェスティバルを開催しました！



展示室に組んだ高座から口演をする小糸さん

7月10日、第3回陸別スターライトフェスティバルを開催しました。今回は天文台初の寄席、柳家小糸さんによる落語「小糸星空独演会」を開催しました。独演会には子供から大人まで幅広い年齢層の来館者が集まり、迫力ある身振り・声量に圧倒され、そして爆笑した「お血脈」、次々出てくる小ネタにお腹がよじれ、最後にハツとした「銀河の恋の物語」の2席が口演され、会場は大盛況でした。



選出した各賞を発表する小糸さん

独演会後は、たくさんの方から寄せられた星にまつわる川柳51句の中から小糸さんが選んだ句の発表があり、最後には小糸さんも2句詠まれました。

「館長コラム」上出洋介(牡牛座)

「宇宙人はいるのか」ということがよく話題になります。太陽系以外の惑星が発見されたのは1995年のことですが、それ以来すでに500個以上も見つかっています。今年になってからだけでも、「主星の回りを回らない惑星を発見」、「木星大の黒いガス状惑星を発見」、「2千光年の近くに、密集する6個の惑星を発見」という見出しが新聞を賑わしています。つい先日には、火星表面に水の流れのズジが発見され、火星に微生物などの生命がいる可能性を示唆されています。



(上出洋介館長)

か弱い地球に偶然生まれた生命。そのうちの一種である人間は、自然の仕組みを解明していく中で、愚かにも自分達を破壊できる爆弾を造ってしまいました。カール・セーガンの計算によると、知的生命体がお互いの勢力争いによって、住人が自ら滅んでしまった星がこの宇宙に10億個もあるということです。星に生命が宿るのも確率、滅ぶのも確率というわけです。

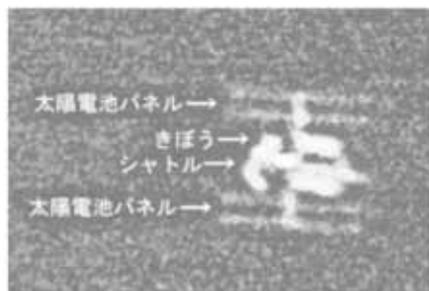
星にまつわる川柳

応募51句の中から小糸さんが7句選出しました。

- ☆天晴れ賞「銀河系 原生林の 闇深く」 倫一郎
- ☆快晴賞「星仰ぎ 八十路越えても オセンチに」 光江
- ☆時々晴賞 3名、小糸賞 2名
- ☆柳家小糸さんの句
「星まつり まだ見ぬ人を 思い出し」
「流星群 金！金！金！の大合唱」

ラストミッションのスペースシャトルと国際宇宙ステーションを観測！

7月19日11時50分頃、陸別上空を国際宇宙ステーション(ISS)が通過しました。ISSは西から北を通り東へ通過し、その様子をりくり望遠鏡で追尾撮影することができました。ISSには最後のミッション(STS-135)のスペースシャトルアトランティス号がドッキングしていました。7月9日にアトランティス号が打ち上がってから陸別はずっと天候に恵まれず、ドッキング最終日の19日も早朝は曇っていましたが、ようやく晴れ間が出てシャトル30年の歴史を飾る最後の姿を観測することができました。ISSには2011年6月から古川聡日本人宇宙飛行士が長期滞在中です。



暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
10月 1日	5:18	17:11	3.7	9:53	19:22
10月 15日	5:34	16:47	17.7	18:02	8:36
11月 1日	5:56	16:21	5.3	11:21	21:17
11月 15日	6:14	16:05	19.3	19:26	9:56
12月 1日	6:33	15:54	5.9	10:56	22:18
12月 15日	6:46	15:53	19.9	20:37	9:43

天文行事&暦

10月

- 9 寒露(24節気:太陽黄経195°)
- 12 ○満月
- 22 オリオン座流星群が極大
(AM7時 最大20個/時)
- 24 霜降(24節気:太陽黄経210°)
- 27 ●新月
- 29 木星が衝
(光度:-2.9等, 視直径:49" .7)

11月

- 2-13 木星観望会
- 8 立冬(24節気:太陽黄経225°)
- 11 ○満月
- 14 水星が東方最大離角
(光度:-0.2等, 離角:22° 45')
- 23 小雪(24節気:太陽黄経240°)
- 25 ●新月

12月

- 7 大雪(24節気:太陽黄経255°)
- 10 ○満月
皆既月食 - 皆既月食観望会
(部分食始21:45、皆既始23:06、
最大23:32、皆既終23:58)
- 14, 15 ふたご座流星群観望会
- 15 ふたご座流星群が極大
(AM2時 最大30個/時)
- 22 冬至(24節気:太陽黄経270°)
- 23 水星が西方最大離角
(光度:-0.3等, 離角:21° 51')
- 25 ●新月

秋のイベント情報 !!

☆木星観望会

今年の木星はおひつじ座の中にあり、この時期見頃を迎えています。木星の縞模様をお楽しみ下さい。

開催日時: 11月2日(水)~13日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜・祝日のみ)

☆皆既月食観望会

12月10日(土)の夜、「皆既月食」が起きます。皆既月食は太陽-地球-月が一直線に並び、月が地球の影に完全に入ってしまう現象です。この日は天文台の開館時間を延長して観望会を開催します。

開催日時: 12月10日(土) ※24時まで開館

皆既月食: 始23:06、最大23:32、終23:58

説明会: 午後7時30分から

☆ふたご座流星群観望会

ふたご座流星群が12月15日の午前2時に極大時刻を迎え、これを前後して流星が多く見られると予想されるため観望会を開催します。

開催日時: 12月14日(水)、15日(木)

説明会: 午後7時30分から

「発見! 銀河の森」 - 黒いキツネ -

昼間、天文台に出勤する際、天文台への道を上っていると、その先になにやら黒い動物がいたので、すぐさま車に積んでいたカメラで撮影してみました。

ほんの一瞬ですぐに隠れてしまいましたが、写真を見てみるとどうやら黒いキツネのようでした。今までにキツネは何度も撮影していますが、ある程度大きくなったキツネが黒いのは初めてで、これはなんだろうと不思議に思い調べてみると、銀ギツネという黒いキツネがいるそうです。しかしこのキツネは、体は黒いものの耳は茶色となんとも不思議な配色で、キタキツネと銀ギツネのハーフなのでしょうかね? (寛)



天文台日記 - 「夏休みの出会い -2011-」 -

夏の天文台は忙しいですが、いろんな出会いがあって楽しいです。夏休みが長くてヒマだと言っている学生さんや自由研究のために一生懸命メモを取って星の勉強をしている子供たちもいました。一人で北海道を旅しているという年配のお客様は、今までの旅での出来事を楽しそうに語っていました。訪れた場所はすべて自分の町のように大切にされていて、出会った人々も家族のように接するそうです。冗談を交えながら笑いの絶えない時間でした。陸別の町と自然も気に入ってくださり、「来年はおみやげを持ってまた来るからな!」と手を振って旅の続きに出発されました。(榊)



天文台からのお知らせ

☆ 10月より開館時間が、13:00~21:30となります。
(昼間13:00~17:00、夜間17:00~21:30)

☆ 年末年始12月30日(金)~1月5日(木)の期間は、天文台休館日となります。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館 (銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp